

三重から発信!! 理想の在宅ケアのカタチ

「日本在宅医学会 第3回地域フォーラムin三重」

市民公開講座 A

入場無料  
申込不要

どなたでもご参加  
いただけます

# 在宅医療で文化を変える

～ いのちの授業と在宅看取り ～

座長：三重大学地域医療学講座 若林 英樹

演者：医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック 石賀 丈士

昭和初期には家族を中心に自宅で看取ることがあたり前でした。しかし現代の日本では約8割の方が病院で亡くなり、自宅で最期を迎える方は1割に過ぎません。

そのため、子供たちが臨死の場面から排除され、いのちの大切さや、死の意味を考える機会もなくなってしまいました。

私たちは在宅医としてご自宅で最期まで患者さんに楽しく過ごすさせていただきお手伝いをし、日々多くの看取りの場に立ち会わせていただいています。

この市民公開講座では、在宅医療の魅力を最大限お伝えできればと思います。



**日時** 平成30年2月4日(日) 13時30分～15時

**場所** 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール  
(津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター内)



～ 演者 石賀 丈士 氏 プロフィール ～

1975年、大阪府生まれ。2001年、三重大学医学部卒業後、三重大学附属病院第二内科、山田赤十字病院（現伊勢赤十字病院）内科・呼吸器科に勤務。07年、しもの診療所所長。09年、三重県四日市市に緩和ケアを中心とした在宅医療専門の「いしが在宅ケアクリニック」を開設。現在は医師8名体制で常時500名以上の患者へ訪問診療を実施。2015年は317名、2016年は277名を看取る。

また、子どもたちに生命の大切さを伝える「いのちの教育」にも力を入れている。著書に『最期まで、命かがやいて』（幻冬舎2015）、『人生の最後に笑顔で死ぬる31の心得 自分も家族も「満足死」のすすめ』（マキノ出版2016）がある。